

SCHOOL LIFE 5月

新聞活用学習開始

全学年で、自分の気になる新聞記事をまとめ、発表する取り組みを始めました。まず、自分の気になる新聞記事を見つけて、その記事を用紙に貼り付け、記事の要約や自分の意見や考えをまとめます。まとめた用紙は学級に掲示をしますが、毎週火曜日の帰りの会で、発表します。



【記事の要約】(1年生)

世界最高齢女性のエマ・モラノさんが死去

【自分の意見や考え】

このエマ・モラノさんが1899年代の最後の一人で、生きていたことがすごいと思った。生きていくために、毎日、卵を食べ続けたことに素晴らしいと思った。そして、1899年代の方がいなくなることが、とても残念だ。

学級目標 (上から1年, 2年, 3年)

つらぬけ 三人の力

～協力・全力・努力～

一致団結

誰よりも先に誰よりも動く
みんなが主役のオーケストラ
奏でるのは静と動のけじめのある
笑顔あふれるハーモニー

全力疾走！仲間を信じて限界突破！

～ Heat & Smile ～

3年生感想

今日の学活で今年の学級目標を決めました。「全力疾走！仲間を信じて限界突破！～Heat & Smile～」になりました。みんながいろいろ提案してくれたので、すごくいい学級目標ができたんじゃないかなと思います！

5月1日(月), 大川内小・中学校, 上場小学校合同の通学路点検を実施しました。大川内地区交通安全協会, 地区自治連, そして, 保護者の方々にも参加していただきました。

12日(金)は, これまで経験したことのないような大雨となり, 被害も出ています。

児童・生徒を始め, 大川内地区の皆様安全・安心な生活が確保されるよう, 地域の方々と協力し, 危機管理・危険予知の視点でも学校づくりをしていきたいと思っています。

CSとして→通学路安全点検



CSとして→朝のあいさつ運動(3年PTAと地域の方々)

5月1日 「あいさつを市民の生活の一部にしていきます。」



スケッチ大会

11日の木曜日、気持ちのよい快晴の中、スケッチ大会を実施しました。それぞれ構図やタッチ、色味に個性が表れていて、同じ場所でも違った景色に見え、それぞれの生徒の絵を見て楽しむことができました。非常勤講師の美術の先生からも去年よりしっかりスケッチができていて進みも速いとお褒めの言葉をいただきました。今後は作品展への出品を目標に、美術の時間に仕上げをしていきます。この日見た学校や大川内の美しい風景をしっかり目に焼き付けて、納得のいく絵を完成させてほしいと思います。

生徒の感想

私は体育館の地下室から虫の目線で描きました。まだ下書きが終わっただけなので、色塗りを頑張りたいと思います。みんなの絵も早く見たいです。

初めてのスケッチ大会がありました。川にマムシが泳いでいてびっくりしました。本当に大川内は自然豊かだと感じました。



☆入賞おめでとう☆ 出水・伊佐地区陸上競技大会

5月17日水曜日、晴天の中、出水市陸上競技場で開催されました。少人数の学校ですが、6人の生徒が入賞し、4人県総体出場権を獲得しました。近年にないすばらしい成績でした。

2位 共女砲丸投 3年 前田杏実

4位 共男三段跳 3年 飯森一真

低男100H 1年 大村凜人

※ 以上、県総体出場権獲得

5位 共女走高跳 3年 大野真季

6位 共女走高跳 3年 川畑真美

共男砲丸投 3年 八郷寿紀

生徒の感想

今日は待ちに待った大会でした！昨日はワクワクのドキドキンと置いていたら、当日はドキドキしっぱなしでワクワクはあまり感じるできませんでした。



CSとして→棚田での米作り

● 米づくりオリエンテーション

先日、3年生で今年の米づくりについての企画会議を行い、本年度のテーマ決定と役割分担、今後の計画等話し合いました。H29米づくりテーマは、「米づくりを通して、大川内のすばらしさを広め、伝統継承の土台を作る」とし、役割を「企画・準備」「記録」「広報」の3つの班に分けました。15日（月）の米づくりオリエンテーションでは、学級委員長と各班



の班長が説明しました。テーマを追求する取組ができるよう3年生を中心に学習を深めてほしいと思います。



また、米作りの歴史、棚田での米作りの特色について、地域指導者でもあり棚田所有者の井手上正弘さんに講義していただきました。様々な方々が、本校の米作りの指導をしていただきます。大川内の伝統と知恵を継承・発展させていきます。

道徳の授業

3年生が道徳の時間に「カッコよく生きるには？」をテーマに、自分たちにとっての「カッコよさ」ってどんなことだろうと話し合いました。男女別でグループを分け、男女それぞれの意見があって、とてもおもしろかったです。「カッコよさ」は、時代によって流行などがあり、変化するものだったり、人によって違いがあったりとさまざまです。中学生の時期は何かと周りに流されやすく、「カッコよさ」に振り回されてしまいがちです。そんな中で、「自分らしく生きる」ということがとても大切だということを感じたようです。多くの人がいればそれぞれ色々な個性があり、周りを認めつつ、自分らしい生き方を模索してほしいです。



生徒の感想

道徳で「カッコよさ」について話し合いました。午後の眠気もどこかにいき、楽しくできました。カッコよさにもいろいろあっておもしろいなと思いました。自分もありのままに生きていこうと思います。

親子読書リレー感想

● 3年「心の傷を癒やす101の言葉」

生徒：落ち込んだときや悲しいときに読んだら元気になれると思いました。この中の一つでも覚えて心の支えにしたいです。

保護者：物事の正負は常に表裏一体。視点を変えてポジティブなことが得意！ということですね。



ハッピー☆クローバーミニコンサート

5月19日、文芸サークル「ハッピー☆クローバー」が昼休みにミニコンサートを開きました。ハッピークローバーは、基本的に毎週火曜日と木曜日の昼休みに活動しています。朝読書の時間に読み聞かせを行ったり、市の読書推進大会でペープサートを発表したり、特老等の施設で慰問コンサートを開いたりしています。新入生、転入生9人を歓迎する心温まるコンサートでした。



CSとして→棚田での米作り

● 5月15日浸漬指導：山鹿政文さん



● 5月19日種まき指導：山鹿政文さん 竹内明夫さん



● 5月25日育苗指導：山鹿政文さん



CSとして→2年生職業講話①



25日(木)の学活の時間、夏季休業中7月の職場体験に向けての事前学習として、**ハローワークいずみの税所秀浩さん**に講話をしていただきました。テーマは「働くということ」です。職業を選ぶときのポイントや、なぜ勉強が必要なのかということ、いまやるべきことなど、税所さんの体験を元に分かりやすく説明してくださいました。その中で「①コミュニケーション ②整理整頓 ③時間と約束を守る」の3つは特に大事にしてほしいという話では生徒も大きくなすいていました。たくさんの質問も出て、将来を考え

きことなど、税所さんの体験を元に分かりやすく説明してくださいました。その中で「①コミュニケーション ②整理整頓 ③時間と約束を守る」の3つは特に大事にしてほしいという話では生徒も大きくなすいていました。たくさんの質問も出て、将来を考え

る良い機会となりました。2回目の職業講話は、**校区在住の女性の獣医さんと北九州市から転入してこられた市役所シティ・セールス課地域おこし協力隊員の方**に話しをしていただく予定です。進路選択の方法・意欲・決意や中学生としてできる具体的な努力について学べたらと思います。

生徒の感想

今回の講話を聞いて、私は働くことについて改めて理解を深めることができました。私はコミュニケーション能力が少し低いので、これから高めていきたいと思いました。また整理整頓も苦手なので、少しずつ頑張っていきたいです。

社会に出るときに必要なポイントを分かりやすく教えてもらい嬉しかったです。また自分の夢に必要なポイントもたくさん教えてもらいました。夢を叶えられるように頑張り、叶ったら教えてもらったポイントを大切にしたいです。

人の話を良く聞き、人とのコミュニケーションを大切にしていた方が将来仕事をやる時に楽しめるということを教えてもらったので、しっかり今成長できるようにしたいです。そのために整理整頓をし、時間と約束を守って、自分に合う仕事を見つけていきたいです。

CSとして→グリーンカーテン



グリーンカーテンの琉球アサガオ・にがうり・きゅうりを植える作業とネット張りを行いました。全ての作業を1から行い、成長していく姿を実際に見ることができるのは何事にも代え難い体験学習です。10m以上なるカーテンの土台の補修を昨年度

からCS委員と地域の方々にしていただいています。今回は**CS副委員長環境整備PJの田中智彰さん**に補修材料の提供をしていただきました。完成が今から楽しみです。



梅ちぎり

26日の金曜日、晴天の中、毎年恒例の梅ちぎりを行いました。木登り係、指示係、道具係、ブルーシートで拾う係と、それぞれの役割分担で協力して活動し、たくさんの梅を収穫することができました。今年の梅はとても丸々として大きく綺麗な梅でした。梅干し・ジャム・シロップなどなど・・・それぞれおいしく食べられるといいです。また、地域の方々を招待して行う12月の収穫祭用に、3年生が梅干し作りをしています。



命の誕生を考える

30日（火）保健センターの方々に命の誕生に関する講話をしていただきました。人の命は、両親の精子・卵子の何千という組み合わせの中から誕生したものであり、10ヶ月お腹の中で成長することもたやすいことではない、命そのものが奇跡なんだということを、改めて実感する時間になりました。

妊婦さんからは、命が宿ったときの気持ちや、お腹が大きいと家事が大変だということを知りましたが、その後の妊婦体験では、身動きの取りづらさに悲鳴をあげる生徒もいました。産婦さんからは、わが子の命の誕生、成長の喜びについて体験をもとに話していただきました。

かけがえのない自他の命を大切すること、これを生き方の土台にしてほしいと思います。

